

高梁市歴史美術館

常設展 「たかはしの歴史と美術」

期間 5月30日(月)まで(第1期)

現在、歴史美術館では、初の試みとなる通史的な展示を行っています。

高梁市を構成する各地域には独自の歴史的背景があり、多様な文化が培われてきました。この常設展では各地域の歴史を原始時代から近代まで通史に沿って紹介しています。高梁市の幅広い歴史の一端を知っていただけたらと思います。

資料紹介：「山崎家家紋入り大瓦」

2メートルを超える大きな鬼瓦です。真ん中上部には成羽藩主山崎家の家紋「緋扇の内に四目結」が施され、下には菊、左右に雲が施されています。現在成羽美術館などがある場所にあった成羽陣屋に使われていたと考えられます。その大きさから、陣屋がとても立派だったことが想像できます。

成羽藩は、元和3(1617)年に因幡若狭藩を治めていた山崎家治(1594・1648)が、成羽の地3万石を与えられ移ってきたことにより成立しました。その後家治は、肥後福岡藩(4万石)、讃岐丸亀藩(5万石)へ国替えとなりました。

家治の跡を俊家、治頼が継ぎましたが、治頼は8歳の若さで亡くなり御家断絶になるところ、徳川将軍家へのそれまでの功績が認められ、分家して讃岐の仁保(5千石)の領主だった家治の次男豊治(1619・1700)に家名を継ぐことが許され、旧縁の地・成羽を治めることになったのです。豊治は大規模な陣屋を造営し、これを中心とした陣屋町を建設しました。現在の成羽町下原地域はこの時に形作られたのです。



児島虎次郎の古代エジプト蒐集記関連イベント  
「児島虎次郎 エジプトへの道」

日時 5月29日(日) 午後1時30分～3時  
講師 児島塊太郎氏(倉敷芸術科学大学名誉教授)

場所 たいこまるプラザ「伊藤記念ホール」(美術館隣)

料金 無料(ただし美術館入館券の購入が必要)

成羽美術館

各施設の展示一覧

※開館日や開館時間が変わる可能性があります。

施設	内容	開館時間	入館料
高梁市歴史美術館 ☎ 21-0180 火曜日休館 ※6月1日(水)～21日(火)	常設展「たかはしの歴史と美術」(～5月30日(月)) 展示替えなどのため休館	午前9時～午後5時 (入館は午後4時30分まで)	一般…400円 小・中学生…200円
高梁市成羽美術館 ☎ 42-4455 月曜日休館	芸術家児島虎次郎の古代エジプト蒐集記(～6月26日(日))	午前9時30分～午後5時 (入館は午後4時30分まで)	一般…1000円 高校・大学生…500円 小・中学生…300円
吉備川上ふれあい漫画美術館 ☎ 48-3664 金曜日休館	常設展示「富永一朗原画 春の景」	午前9時～午後5時 (入館は午後4時30分まで)	一般…500円 高校・大学生…400円 小・中学生…300円

常設のみの施設：山田方谷記念館・高梁市郷土資料館☎ 22-1479 / 景年記念館☎ 21-1516(社会教育課)

入館無料の対象：市内在住の小・中学生(学校休業日に利用する場合) / 障害者手帳を持つ人と介助者1人 / 市内在住の65歳以上(高梁市成羽美術館は対象外)